# 第壱号議案

# 平成19年度 千葉県自閉症協会活動報告

# 全般的活動(会長:大屋)

千葉県自閉症協会を設立し2年度目になり、日本自閉症協会「千葉県支部」から「千葉県自閉症協会」への移行を進めました。千葉県全体の健康福祉や特別支援教育に積極的に関与するとともに、各市町村での活動に対応可能な組織の充実を目指しました。地道な活動により、「千葉県自閉症協会」の名称が県内県外に広く浸透してきました。

以下、千葉県自閉症協会、及び千葉県支部として行った活動を列記します。

- 1. 千葉県自閉症協会と 17 の市・地区自閉症協会との密接な協力体制を作りました。地区会に所属している会員総数は19年4月の時点での1015名から、20年4月時点で1018名になりました。
- 2. 千葉県の健康福祉、特別支援教育行政担当者と緊密に意見交換を行いました。
- 3. 千葉県、及び千葉市の委員会等に委員として、下記の役員が参加しました。

千葉県障害のある人の相談に関する調整委員会 古屋 道夫

障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例推進委員会 大屋 滋

第四次千葉県障害者計画策定作業部会委員 松井 宏昭

千葉県発達障害者支援センター連絡協議会 大屋 滋

千葉県発達障害者支援体制整備検討委員会 大屋 滋、松井 宏昭

千葉県発達障害者支援システム検討作業部会 大屋 滋、松井 宏昭

千葉県障害者日中活動の場の質的・量的充実のための検討会議委員 松井 宏昭

千葉県人権施策推進委員会 大屋 滋

袖ヶ浦福祉センター強度行動障害入退所審査等審議会 大屋 滋

千葉県広域特別支援連携協議会 大屋 滋

千葉県障害児教育研究推進会議 大屋 滋

千葉市発達障害者支援体制整備検討委員会 大屋 滋、菊池 裕美

千葉県アビリンピック推進会議 朝倉 潤一

- 4.「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」や障害者計画地域医療計画、地域 福祉計画の推進に向けて、積極的に活動しました。20年2月10日に、県障害者施策(障害者計 画)と障害のある人もない人も暮らしやすい千葉県づくり条例についてミニタウンミーティング及 び講演会を開催しました。その他の県内各地のタウンミーティングへの協力や、地域の県議会議員 に対して説明と要望を行いました。
- 5. 地区会との緊密な連携を行い、千葉県自閉症協会の運営を行いました。
  - 1) 1、2ヶ月に1回の頻度で、理事会を開催しました。
  - 2) 役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。
  - 3) 会員宛のニュースレターNo.29を発行しました。
- 6. 千葉県内の大会や講演会などに講師やスタッフとして参画しました。
- 7. 日本自閉症協会の活動へ参画しました。

理事:白水幹久

評議員:北尾敏明

出版部委員:古屋道夫、朝倉潤一、 編集協力員:神成京美

高機能自閉症とアスペルガー症候群のサポート事業企画委員:坂本秀美

共済事業ASJ互助会給付委員長:坂本秀美

共済事業AS J 互助会推進委員: 矢作貞代

総会、理事会、支部役員連絡メーリングリストなどで、協会の活動、運営体制、組織改革について 積極的に意見や要望を行いました。

- 8. 関東ブロック会議及び、メーリングリストの運営に参画しました。関東ブロック内での意見や情報 の交換を行いました。
- 9. 他の都道府県の、自閉症協会支部、発達障害支援センター、医療・教育・福祉など団体の依頼を受け、講演や研修などの活動を行いました。
- 10. 厚生労働科学研究に参加しました。

## 各部局活動報告

#### 事務局

1. ペアレントメンター養成講座

社)日本自閉症協会本部の要請を受け、平成19年11月3日、4日に千葉県発達障害者支援センター の協力の下、千葉県教育会館にてペアレントメンター養成講座・基礎コースを開講しました。

- 11月3日には、公開セミナー「わかりやすい自閉症基礎講座」を養成講座と併催しました。 参加者
  - ① ペアレントメンター受講者 32名 (岩手2、新潟1、群馬2、茨城3、神奈川3、千葉21)
  - ② 公開講座参加者 112名
- 2. 地区自閉症協会支援
  - ① 地区自閉症協会好取組み事例発表会

平成19年5月27日、当協会通常総会後に、柏市自閉症協会松井会長を講師とし「NPO法人自閉症サポートセンター(柏市)の活動」に関する講演会を開催しました。

② 地区自閉症協会代表者会議

平成20年3月22日、千葉県青少年女性会館にて、地区自閉症協会の代表者16名参加による地区 自閉症協会代表者会議を開催し、平成20年5月25日開催予定の「千葉県自閉症協会感謝の会」の 企画案に対し意見を聴取するとともに、各地区自閉症協会の取り組み情報交換を実施しました。

③ 後援承認

以下の地区自閉症協会活動を後援しました。

7月7日 松戸市自閉症協会30周年記念講演

10月21日 我孫子市自閉症協会自閉症児のコミュニケーション・セラピー

3月8日 習志野市自閉症協会・八千代市自閉症協会共催セミナー「自閉症児とともに学ぶ」

3. 組織改革

協会本部の組織改革に対応し、平成20年3月22日、千葉県青少年女性会館にて当協会の臨時総会 を開催し、定款の一部変更を可決しました。

4. JR東日本労組 「列車のたびプレゼント」

平成19年10月13日、JR東日本労組千葉のご好意で、恒例の「列車のたびプレゼント」に29組59名の当協会会員親子が招待され、内浦山県民の森までの貸切列車のイベントを満喫しました。

5. 中越沖地震義捐金

平成19年7月16日に新潟県中越地方で発生した地震被害者救済のため、当協会として3万円の義捐金を、社)日本自閉症協会新潟県支部宛に拠出しました。

6. 自閉症啓発キャンペーン

平成18年度に続き、社)日本自閉症協会の自閉症啓発キャンペーンに協力し、AC公共広告機構作成DVDを78本販売し、その売上利益33,101円を社)日本自閉症協会に寄付しまし

た。

7. ASC成壮年自閉症問題研究会

本研究会は自閉症者の加齢化及び親の高齢化に伴う諸問題について取り組むため、平成19年度に活動を開始しました。研究会の名称は理事会の議論を踏まえて「成壮年自閉症問題研究会」に改称しました。

- (1) 7~8 月に本人が 20 歳以上の会員(約 500 名)を対象にアンケート調査を実施し、課題の把握 を行いました。対象会員の 57% (239 名) から回答を得ました。
- (2) 9~10 月に結果集計、11 月の理事会に調査結果を報告の上、12 月発行の「みち」に掲載しました。
- (3) アンケート調査と同時に研究会の参加者を募集した結果、53名の参加があり(年度末62名)、9 月末に研究会のMLを立ち上げました。
- (4) 第1回懇談会を12月1日(土)に開催。アンケート結果を基に、課題について意見交換を行う共 に、進め方について協議しました。
- (5) 第2回懇談会を2月2日(土)に開催。参加者より成年後見の現状及び実践的取組について紹介 を得て、問題認識を深めました。
- (6) 第3回懇談会を4月5日(土)に開催。成年後見、グループホームについて、20年度の会の進め方について話合いました。

### 総務部

- 1. 日本自閉症協会「いとしご」「かがやき」直送名簿作成と管理、及びそれに伴う地区自閉症協会との 入・退会、訂正受付業務と入会金の管理を行いました。
- 2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入・退会業務と会員への連絡。
- 3. 各種問い合わせ資料や入会申込み書の送付。
- 4. 個人情報保護法の施行に伴い、会員・団体の個人情報管理を徹底指導。
- 5. 親子の旅事業の事務処理と11月23日日帰り親子遠足(皇居東御苑と科学技術館)を実施しました。

#### 広報部

1. 広報誌「みち」の発行

千葉県支部からの委託を受け、「みち」72号を平成20年1月に発行しました。なお、発行部数は2,720部です。

2. 千葉県自閉症協会のホームページ (URL: <a href="http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/">http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/</a>)、メーリングリストを運営しました。また、各地区自閉症協会の情報発信を支援しました。

#### 事業部

1. 千葉県自閉症協会ミニタウンミーティング&講演会

平成20年2月10日、千葉県労働者福祉センターにて、千葉県健康福祉部との共催によるミニタウンミーティングを開催しました。

第一部 ミニタウンミーテイング

県障害者施策(障害者計画)と「障害のある人もない人も暮らしやすい千葉県づくり条例」について 第二部 戸枝陽基さん講演会 「障害者が地域で暮らすために」

## Will クラブ事業部

1. 定例会 11回

4/20, 5/22, 6/19, 7/10, 9/14, 10/19, 11/16, 12/14, 1/18, 2/15, 3/7

2. 講演会、座談会

7/1 講演会「高機能自閉症・アスペルガー症候群への医学的な支援」(CAS共催)

講師:内山 登紀夫 氏(よこはま発達クリニック院長、大妻女子大教授)

9/30 座談会「性教育から性共育へ」

講師:木野 麗子 氏 (グループSEC代表)

11/11 座談会「発達障害者として生きること」

お話:小川 恵吾 氏(アスペルガー症候群の本人、千葉市在住)

1/13 講演会「自閉症と精神科医療」(CAS共催)

講師:市川 宏伸 氏(都立梅が丘病院院長)

- 3. 余暇活動
  - ① レッツゴークラブ

5/27 千葉市動物公園 (千葉市)

9/9 国立科学博物館(台東区上野)

11/11 「きぼーる」千葉市科学館(千葉市)

1/20 地下鉄博物館(江戸川区)

3/23 葛西臨海水族園 (江戸川区)

② 女の子限定企画 (アリスのお茶会)

3/25 お花見会

7/15 海辺に行こう→台風上陸により中止

10/28 花の美術館、アクアリンクちば(千葉市)

2/3 佐倉城址公園、歴史民族博物館、市内散策(佐倉市)

③ 親子のたび事業

12/8~9 餅つきキャンプ (手賀の丘少年自然の家)

④ 鉄道クラブ

8/21 碓氷峠鉄道文化村(長野県)

1/5 ぐるり福島の旅(福島県)

- 4. グループセッション「思春期、成人期を支える家族のために」 10回 5/22、6/19、8/28、9/14、10/19、11/16、12/14、1/18、2/15、3/7
- 5. 学校見学

9/25 千葉県立障害者高等技術専門学校

6. 家庭学習支援プロジェクト

1/18, 2/15, 3/7